

茨城大学公開特許

発明の名称	高速切削試験装置
出願番号	特願2006-181078(2006.06.30)
公開番号	特開2008-008821(2008.01.17)
登録番号	特許第4171808号(2008.08.22)
学内発明者	篠塚 淳
技術分野	ものづくり技術（製造技術）
発明の概要	【課題】 管路内に装填した切削工具を圧縮気体により加速させて、管路に接続した切削雰囲気制御できる加工チャンバ内に設置した被削材の一部を高速で削り、切削終了後も高速で飛翔し続ける工具と切りくずを、切削過程以外の変形や損傷を受けることなく無しに停止させる機能を有する高速切削試験装置を提供する。 【解決手段】 小型の切削工具の切れ刃を内蔵した飛翔容器を、管路内で圧縮気体により加速させ、加工チャンバ内で切削過程を実現させる。切削過程で生成した切りくずは切削工具を内蔵した飛翔容器の中に格納する。切削終了後も管路内を飛翔しつづける切削工具と切りくずを内蔵した飛翔容器に対し飛翔方向から圧縮気体により減速力を負荷させて、衝撃吸収材などに衝突すること無しに飛翔容器を所定の個所で停止させる。
説明図	